

神奈川県新英語教育研究会 春の1日研修会

新年度にむけて、新たな授業づくりの計画をたてはじめていらっしゃると思います。今年度の研修会では、『英語教育神話の解体—今なぜこの教科書か』を昨年出版された成城大学名誉教授の中村敬先生に長野県・白馬村から来ていただき、ご講演をお願いすることができました。中学・高校の実践報告も魅力的なものを用意しました。これからの授業づくりのためのヒントをたくさんおみやげに持ち帰って下さい。

- 日時 5月10日（日）9：30～17：00
- 会場 横浜市技能文化会館 大研修室802（京浜東北線関内駅南口下車徒歩5分）
- 日程 9：30～10：00 受付・事務連絡

10：00～11：30 「伝統的な高校英語授業を変えるためのレシピ」

萩原一郎さん（神奈川県立城郷高校）



現任校に異動してきて教員生活初めての共通進度、共通テスト。その中でどう自分のカラーを出そうとしてきたのか。実際に授業で使用したいいくつかのワークシートを使いながら、ワークショップ形式で紹介していきます。学年最後に位置づけたスピーチ大会、英語暗唱発表大会の映像も見ていただきます。

11：30～12：30 昼食

12：30～14：00 「今年の英語の授業をどうしよう？話せて、遊べて、
基本が身につく、そんな授業を創造しよう！」

安野寿美さん（江戸川区立篠崎第二中学校）



新出単語の導入、教科書本文の理解の仕方、文法の理解と定着など、ごく普通の授業ですが、その中で生徒の学びを育てていくにはどうしたらいいのか、皆さんで体験しながら考えていきませんか。文化のかおりがする授業を目指しています！

14:10～16:40 講演「実作で示す英語教育再生案」



中村 敬さん(成城大学名誉教授)

現在安倍内閣が進める英語教育改革は、亡国の改悪案です。それを批判するのは簡単ですが、批判(言説)だけでは実効性はありません。そこで、改革の根本原理を実作で提示したいと考えて出版したのが『英語教育神話の解体——今なぜこの教科書か』(三元社)です。私はこの著作を遺言のつもりで書きました。今なぜこの教科書かをじっくり語りたいと思います。

16:40～ アンケート記入・事務連絡

17:00 終了

17:15～ 懇親会 *懇親会はどなたでも参加できます

中村敬(なかむら・けい)さん紹介

1932年、愛知県生まれ。1955年、南山大学英語学・英文学科卒業。1966年～1967年、英国政府奨学生(British Council Scholar)としてロンドン大学留学。1980～1981年、ウェールズにおける言語問題調査。成城大学名誉教授。

著書に『イギリスのうた』(研究社)、『私説英語教育論』(研究社)、『英語はどんな言語か』(三省堂)、『外国語教育とイデオロギー』(近代文藝社)、『幻の英語教材』(共著三元社)、『なぜ、英語が問題なのか』(三元社)など。中学校英語教科書 *NEW CROWN ENGLISH SERIES* (三省堂) (1978～1993年 代表著作者)、高校英語教科書 *FIRST ENGLISH SERIES* (三省堂) (1988年～1995年 代表著作者)。 (2014年5月現在)

● 参加費 2,000円(支部会員1,000円 学生500円)

● 問い合わせ 萩原 一郎(Email: fwnf6910@mb.infoweb.ne.jp)
詳細情報 : <http://plazarakuten.co.jp/shineikenkgw/>

* 事前予約は不要です。当日、会場においで下さい。